

PC330 (Type 6577) / PC350 (Type 6587)

初期導入済ソフトウェアについて
(Windows NT 4.0)



PC330 (Type 6577) / PC350 (Type 6587)

初期導入済ソフトウェアについて
(Windows NT 4.0)

— お願い —

本書の情報および、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず13ページの付録A、『ライセンス情報』および15ページの付録B、『特記事項および商標』をお読みください。

原典： V84H-0345-00
IBM Personal Computer
About Your Software
Windows NT 4.0 and Other Software

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1997.5

©Copyright International Business Machines Corporation 1996. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1997

本書について	v
第1章 ソフトウェアの概説	1
第2章 始動	3
コンピューターの最初の始動	3
始動前に必要なこと	3
Windows NT セット・アップ・プログラムの実行	4
コンピューターの遮断	5
第3章 他のオペレーティング・システムの導入	7
第4章 サポート CD の使用法	9
サポート CD の機能	9
サポート CD の開始	10
付録A. ライセンス情報	13
プログラム名	13
追加条件	13
プログラム・サ - ビス	14
保証	14
その他	14
付録B. 特記事項および商標	15
特記事項	15
商標	15

本書では、ユーザーのコンピューター資料の情報を補足します。今後参照するときのために、本書はコンピューター資料と一緒に保管しておいてください。

本書には、導入済みソフトウェアについての一般情報が記載されています。導入済みプログラムは完全に導入されており、ユーザーはすぐに使用することができます。

本書は次のように編成されています。

- 1ページの第1章、『ソフトウェアの概説』には、ユーザーのコンピューターに提供されているソフトウェアに関する概説情報が記載されています。
- 3ページの第2章、『始動』は、ユーザーがコンピューターを最初に始動する際に必要な情報および、安全な遮断について記載されています。
- 7ページの第3章、『他のオペレーティング・システムの導入』には、他のオペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの導入に関する情報が記載されています。
- 9ページの第4章、『サポート CD の使用法』には、サポート CD 上に提供されているソフトウェアの導入あるいは再導入に関する指示が記載されています。
- 13ページの付録A、『ライセンス情報』には、ソフトウェア・ライセンスに関する情報が記載されています。
- 15ページの付録B、『特記事項および商標』には、法律上の注意および商標に関する情報が記載されています。

コンピューターは以下の事前導入済みソフトウェアとともに出荷されます。

- Microsoft Windows NT ワークステーション・バージョン 4.0¹ オペレーティング・システム。

事前導入済みソフトウェアは、ユーザーのコンピューターに提供されているプログラム・ライセンス契約の条件および本書の付録A のライセンス情報に基づき、ライセンスが与えられています。

事前導入済みソフトウェアに加え、ユーザーのコンピューターとともに出荷される サポート CD 上に他のソフトウェアが提供されています。² CD に関する詳細については、第4章 を参照してください。

重要:

1. 事前導入済みソフトウェアのバックアップ・ディスクットはユーザーのコンピューターには提供されていません。しかし、サポート CD には、デバイス・ドライバなどの事前導入済みソフトウェアの一部が含まれています。

さらに、Microsoft Windows NT ワークステーション・バージョン 4.0 オペレーティング・システム (Microsoft によって提供され、IBM は修正していない) が、バックアップのために別の CD にて提供されています。この CD は、最新のデバイス・ドライバや初期導入済みのその他のソフトウェアは含みません。オペレーティング・システムの再導入が必要な場合には、Windows NT CD および サポート CD を使用してください。

2. 一番最初に、Windows NT システム修復ディスクットを作成します。このディスクットは一部の回復目的のために使用することができます。(ディスクット作成の指示については、ユーザーのコンピューターに提供されている Windows NT 資料を参照してください。)

¹ Microsoft Certificate of Authenticity は、ユーザーのコンピューター上のWindows NT ソフトウェアが Microsoft Corporation. から法的にライセンスを得ていることに関する保証です。

² サポート CD には、製品出荷時における最新のソフトウェアが提供されています。必要に応じて事前導入済みソフトウェアのアップデートをしてください。

本章には、コンピューターの始動に役立つ情報が含まれており、以下の事項について説明します。

- 最初に、コンピューターを始動する前に必要なこと、ならびに始動後に生じること
- コンピューターの安全な遮断

コンピューターの最初の始動

Windows NT セットアップ手順を完了しないと、Windows NT にアクセスすることはできません。

始動前に必要なこと

Windows NT セットアップ手順を開始する前に、以下の事柄が必要です。

- 本章で提供されているよりも詳細な情報が必要な場合には、コンピューターとともに提供されている Windows NT の資料
- Microsoft Certification of Authenticity (Windows NT の資料の表紙に書いてある) プロダクト ID ナンバー
- ユーザーのネットワーク管理者からのネットワーキング情報 (必要に応じて)
 - ユーザーのコンピューターに導入されているネットワーク・アダプターのタイプおよびそのアダプターの IRQ (割込み要求) 番号、ベース I/O アドレス、ならびにネットワーク管理者によって提供されるその他の設定値
 - ユーザーのコンピューターの固有名およびそれが所属する Windows NT ドメイン名

- ネットワークが TCP/IP の場合は、以下も必要となります。
 - ネットワークの省略時ゲートウェイのインターネット・アドレス
 - ユーザーのコンピューターのインターネット・アドレス、サブネット・マスク、および TCP/IP ドメイン名
 - ネットワークが DNS を使用する場合は、ネットワーク上の定義域名サービス (DNS) サーバー機能のインターネット・アドレス
- 印刷装置がコンピューターに直接接続されている場合は、印刷装置の型および印刷装置によって使用されるポート

Windows NT セット・アップ・プログラムの実行

セット・アップ・プログラムがまだ実行されていない場合は、コンピューターを始動したときにそれが現れます。プログラムは選択肢を選択するか、あるいは必要に応じて情報を入力するようにユーザーに指示します。以下の注に提供されているよりも、より詳細な情報が必要な場合は、Windows NT の資料を参照してください。

注:

1. コンピューターを開始したときに現れるセット・アップ・プログラムは、Windows NT の資料に記載されているものとはやや異なります。Windows NT の資料に記載されている一部の選択項目は事前設定されているために現れません。
2. セットアップ中に、Certification of Authenticity のプロダクト ID ナンバーを聞いてきます。このナンバーは Windows NT のマニュアルの表紙に書かれています。
3. ディスプレイ設定ウィンドウが現れたときにモニターのビデオ・モードを設定しないと、省略時値は 256 色、640X480 モードとなります。セット・アップ・プログラムの完了後にビデオ設定値を変更するには、コントロールパネル・グループ内のディスプレイを使用します。
4. セットアップ手順が完了し、システムが再始動された後、Windows NT はどんなハードウェアが導入されているかを検出し、適切なデバイス・ドライバーを導入します。その後、Windows NT ログ・オン・ウィンドウが現れます。省略時解釈では、管理者にはパスワードは割り当

とられません。ログ・オンするには、単に **Enter** キーを押すだけです。ユーザーのシステムを保護するには、パスワードを設定します (説明については、Windows NT の資料を参照してください)。

5. ログオン手順が完了した後、Windows NT デスクトップが現れます。
6. 一番最初に、Windows NT システム修復ディスクを作成します。回復のために使用することのできるディスクを作成することは大切なことです。

システムに機能を追加する場合は、システム修復ディスクを新しく作成し、ディスクが現行システム構成を反映するようにします。ディスクの作成および使用に関する追加情報は、ユーザーの Windows NT の資料にあります。

コンピューターの遮断

未保管データの損失またはプログラムに対する損傷を防ぐには、コンピューターの電源を切る前に常に遮断手順を実施します。

コンピューターを遮断するには、

1. 作業中のデータを保管します。
2. 開いているすべてのアプリケーション・プログラムをクローズします。
3. 「スタート」ボタンをクリックします。
4. 「シャットダウン」をクリックし、次に **OK** をクリックして要求を確認します。

あるいは

1. 作業中のデータを保管します。
2. 開いているすべてのアプリケーション・プログラムをクローズします。
3. **Ctrl+Alt+Del** を押し、「デスクトップ・メニュー」を表示します。
4. シャットダウン をクリックし、次に **OK** をクリックして要求を確認します。

第3章 他のオペレーティング・システムの導入

ユーザーが以下のオペレーティング・システムを導入する場合は、まず、市販のパッケージ³をインストールした後、サポート CD 上に提供されているサポート・ソフトウェアを導入する必要があります。

- Microsoft Windows 3.1
- IBM OS/2 Warp V3 (3.01)
- IBM OS/2 Warp Connect V3
- IBM OS/2 Warp V4
- Microsoft Windows 95
- Microsoft Windows NT バージョン 3.51
- Microsoft Windows NT バージョン 4.0⁴

オペレーティング・システムを導入する前に、それが最新版であることを確認してください。アップデートを行うには、そのオペレーティング・システムのメーカーにお問い合わせください。

オペレーティング・システムを導入するには、オペレーティング・システムおよび更新について提供される資料の指示に従います。次に、第4章の指示に従い、サポート・ソフトウェアを導入します。

重要

サポート CD 上に提供されているデバイス・ドライバーはディスクett ファクトリーでディスクett を作成してから使用します。他のオペレーティング・システムを導入する前に、あらかじめ必要なデバイス・ドライバーを初期導入済ソフトウェアを使用して作成しておく、他のオペレーティング・システムを導入する際に便利です。

³ Windows NT 3.51 を除く

⁴ 再導入の場合

コンピューターとともに提供される サポート CD からデバイス・ドライバーおよびその他のソフトウェアを導入または再導入したい場合は、本章の情報をういてください。

サポート CD の機能

サポート CD には、デバイス・ドライバー、およびさまざまなオペレーティング・システム環境のためのサポート・ソフトウェアが含まれます。サポート CD の内容については、別冊の「初期導入ソフトウェア (Windows N4.0 導入モデル) 補足情報」を参照してください。また、各プログラムについては README を参照してください。

重要

サポート CD には、オペレーティング・システムは含まれません。CD が使用できるためには、先にオペレーティング・システムがユーザーのコンピューター上に導入されていなくてはなりません。

以下の目的のために CD を使用することができます。

- CD 上のソフトウェア・プロダクトおよびデバイス・ドライバーのためのディスクットの作成、ならびにディスクットからのプロダクトおよびデバイス・ドライバーの導入。
- CD-ROM ドライブを備えたモデル上の CD から一部のプロダクトを直接導入。
- ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) イメージの作成、ならびに LANを介したプロダクトの導入。

CD は、CD 上のほとんどのプロダクトに関する使いやすいグラフィカル・インターフェースおよび自動化された導入手順を提供します。CD は、CD およびそれに含まれるプロダクトの機能を説明する包括的な説明およびヘルプ・システムを含みます。サポート CD 上のプログラムおよびデバイス・ドライバーは、CD 概説に含まれる IBM International Program License Agreement および License Information の用語および条件に従ってライセンスが与えられています。

サポート CD の開始

CD ソフトウェアの導入、あるいは関連デバイス・ドライバーおよびプログラムに関する概説情報を閲覧するには、

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ユーザーのオペレーティング・システムに基づき、以下のように CD を始動します。

- Windows 3.1: Windows プログラム・マネージャー・ウィンドウから、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックし、そして以下のように入力します。

e:¥ibmsetup

ただし、e: は CD-ROM ドライブ文字です。**Enter** を押します。

- Windows NT 3.51: Windows プログラム・マネージャー・ウィンドウから、メニュー・バーの「ファイル」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックし、そして以下のように入力します。

e:¥ibmsetup

ただし、e: は CD-ROM ドライブ文字です。**Enter** を押します。

- Windows 95: ツールバー上にある **Start** ボタンをクリックし、次に「ファイル名を指定して実行」をクリックし、そして以下のように入力します。

e:¥ibmsetup

ただし、e: は CD-ROM ドライブ文字です。**Enter** を押します。

- Windows NT 4.0: ツールバー上にある **Start** ボタンをクリックし、次に「ファイル名を指定して実行」をクリックし、そして以下のように入力します。

e:¥ibmsetup

ただし、e: は CD-ROM ドライブ文字です。**Enter** を押します。

- OS/2 WARP V3 WITH WIN-OS/2, OS/2 WARP CONNECT V3 WITH WIN-OS/2 または OS/2 WARP V4:

OS/2 コマンド・プロンプトに続けて以下のように入力します。

```
start /win e:¥ibmsetup
```

ただし、*e:* は CD-ROM ドライブ文字です。**Enter** を押します。

3. 希望するオプションを選択し、次に画面の指示に従います。

注意: サポート CD を使用してアプリケーションを導入する場合、アプリケーションの選択は 1 度につき 1 個にしてください。

本章中のライセンス情報は、「IBMプログラムのご使用条件」に基づき使用許諾されるIBM製および他社製のプログラムに関するものです。なお、Windows NTは、IBMにより提供されますが、独自のライセンス条件および保証が適用されています。

本書中で述べられているプログラムの一部は、英語のみで提供されています。一部のプログラムは、実際に市販されているバージョンとは異なることがあり、また本製品用にカスタマイズされることもあり、これらのプログラムはすべての資料を含まないことがあります。また、すべてのプログラムが個別に販売されるわけではありません。

プログラム名

初期導入済ソフトウェアおよびサポートCDに含まれるソフトウェア
(Windows NTを除く)

追加条件

- 家庭用コンピュータ / 携帯用コンピュータへの複製および使用
この「プログラム」には適用されません。
- プログラムの移転
この「プログラム」は、「プログラム」の調達元（IBMまたはIBM認定再販売者）の書面による同意がある場合に限り、第三者に移転することができます。
- 使用权の証明
この「プログラム」に対するお客様の使用权は、所定のライセンス証書により確認されます。IBMまたはIBM認定再販売者が提供する保証サービス、将来におけるプログラムの上位移行（発表された場合）または販売促進用の特別な措置（提供された場合）等の資格の確認およびこの「プログラム」に対する使用权の証明として、ライセンス証書を保管するものとします。

このシステムとともに提供された「プログラム」には限定的な技術サポートのみが提供されます。

プログラム・サ - ビス

このプログラムには、プログラム・サ - ビスは提供されません。

プログラム・サ - ビスの内容

この「プログラム」にはプログラム・サ - ビスは提供されません。この「プログラム」は、特定物として現状のまま提供されます。

保証

これらの「プログラム」は、特定物として現存するままの状態を提供され、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示または黙示の保証は適用されません。

その他

この「ライセンス情報」にて参照している書類を含め、この「プログラム」に関するいかなる書類も、お客様の参照のために提供されるもので、「ライセンス情報」記載の内容を拡張または変更するものではありません。



部品番号: 12J0689

Printed in Japan

1996 年 10 月

